

平成 24 年度 生活機能調査と二次予防事業の状況について

1. 生活機能調査の実施状況

- ・調査対象者数 13,743 件
- ・回答件数 11,900 件（回収率 86.6%）

2. 生活機能調査の結果

- ・二次予防事業対象者数 2,510 件
- ・年齢別の機能低下者の割合（表1）および各項目別の低下者の割合（表2）

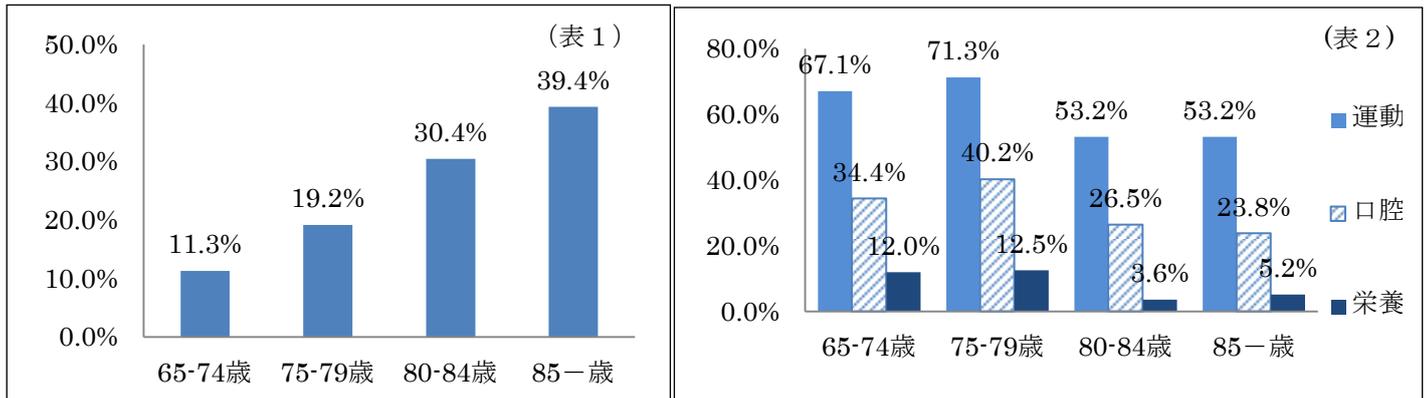


表1, 2より年齢が高くなるにつれ生活機能低下者の割合が多くなっています。
また、表2より生活機能低下者の中でも運動機能低下者の割合が多くなっています。

3. 事業参加者の状況（H24.12月末時点）

- ・事業参加申し込み 83人 内事業参加者 68人
- ・83人中には、参加申し込みするも開始前に辞退された方13人、中断者5人、閉じこもり予防あんきなくらぶに5人、認知症予防教室に12人の参加者を含んでいます。
※二次予防事業参加の他に、地域の一次予防事業への参加や訪問対応している方があります。

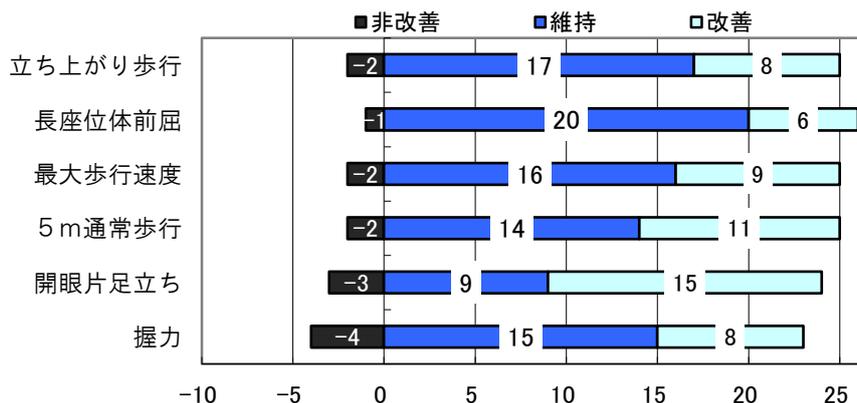
4. 二次予防事業参加者の結果（H24.12月末時点）

①運動機能向上教室

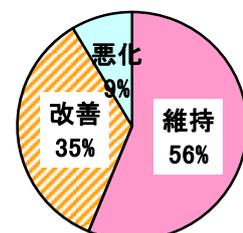
※福岡水中運動教室と坂下筋力アップ教室については、現在実施中であり終了していないため除いています。

- ・70歳代の教室：参加終了者17人 平均年齢76歳 週1回12週間実施
- ・80歳代の教室：参加終了者10人 平均年齢82.5歳 週1回12週間実施
- ・事業内容：柔軟体操、バランス運動、筋力トレーニングなど

■体力レベルの参加前後の変化状況（人数）



体力レベル改善者の割合



・参加者の感想・声

●運動機能向上教室について

いままでストレッチなどの運動方法を知らなかった。運動がこんなに体に良いことを早く知りたかった。

● 身体面の変化

- ・歩行時のふらつきが無くなった
- ・つまずかなくなった
- ・なんとなく体や足が軽い
- ・足が前にサッと出るようになった
- ・首のあたりが楽になった
- ・膝の痛みが無くなった
- ・体が柔らかくなった

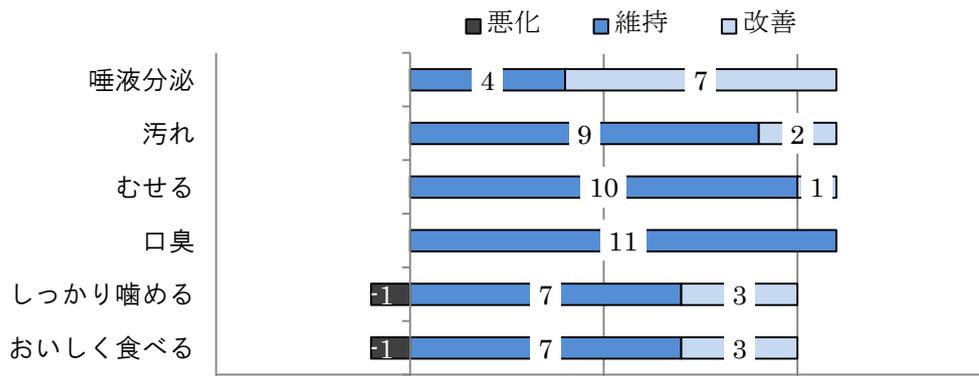
●生活・活動・気持ちの変化

- ・習った運動をするようになった
- ・姿勢を意識して歩くようになった
- ・階段が楽に昇れるようになった
- ・自分で肩や腰に膏薬が貼れるようになった
- ・身体が動くようになり嬉しい
- ・立ったり座ったりの動作が楽になった
- ・布団からの起き上がりがスムーズになった
- ・歩くことが楽しい

②口腔機能向上個別訪問相談事業

- ・事業内容：歯科衛生士による2回（1回1時間半程度）の個別訪問
- ・利用者人数：11名 平均年齢78.3歳
- ・主な相談内容：口渇・むせ・咀嚼（かみ合わせなど義歯の不具合）

■相談利用後の口腔状態の変化（人数）



- ・事業利用後の口腔機能の状態は、維持73%・改善24%ありました。
- ・特に唾液腺のマッサージによる効果か、唾液分泌が改善した方が64%ほどみられました。

③栄養改善個別訪問事業

- ・事業内容：栄養士による3回（1回1時間半程度）の個別訪問
- ・利用者人数：4名 平均年齢（73.3歳）

■おもな利用者の状況

- ・男性3名 平均BMI 17.3 消化管の術後1~2年が2名、慢性呼吸器疾患あり1名
- ・女性1名 BMI22 口腔機能向上個別相談に申込利用のあった方で兼ねて利用

ア. 相談開始3か月後の体重の変化と食事に対する変化

利用者	実施前 BMI	体重	食 事
①男性	17	維持	術後1年の方。消化器に負担のないように小分けし食事し、食事の内容をタンパク質や野菜の量と内容を意識されるようになった。
②男性	16.9	増加 (1kg)	偏食のある方。自分の好む食材の中で、タンパク質の多い食材を選び摂取されるよう意識されるようになった
③男性	18.1	増加 (1.5kg)	術後2年の方。不規則な間食・偏りのある食事から食事内容や時間について胃腸に負担が少なくなるよう意識されるようになった。
④女性	22	減少 (1.5kg)	口腔機能に問題のある方。咀嚼しやすい調理法の工夫・間食の内容と量を意識された。

イ. 基本チェックリスト（25項目）の点数変化

利用者	点数の変化			実施後の変化したチェックリストの主な項目
	前	後	結果	
①男性	6	0	改善	外出の回数が増加。うつの項目が改善。
②男性	8	2	改善	転倒に対する不安が無くなるなど運動機能の改善・疲れやすいなどのうつの項目が改善
③男性	5	6	維持※	今年になり地区の役員を辞めたことで、外出の回数が減った（色々と引き受けていた役をすべて人に譲った）
④女性	14	8	改善	うつの項目の該当が無くなった

- ・活動的となり、気持ちの変化がみられる方が増加。
- ・※の方は地域の役の交代などで外出が減ったため活動回数が減ったが、それ以外の外出頻度は大きな変化が無いということで維持としました。

5. H23年度 二次予防事業を利用された方の認定状況（H24.12月末時点）

- ・運動機能向上教室：36人利用あり、うち80歳女性1名が要介護1認定
- ・口腔機能改善個別訪問相談事業：2人利用あり、うち認定者無

あんきなくらぶ（一次予防事業）の状況について

1. 教室の状況（平成19年度より実施）

	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度
登録者	179	233	295	312	335
延人数	5,143	7,008	7,854	9,152	9,917
教室数	17	20	22	24	27
参加中止者		45	52	55	46
介護認定者		19	35	32	35

2. 平成23年度参加中止になった理由

利用中止になった人 46人

○体調の変化

- ・介護認定を受ける
- ・デイサービス・ショートステイ・施設入所等の介護保険サービスの利用を希望
- ・腰痛で足取りが悪くなり、自宅での入浴が困難となり、デイサービスを利用する
- ・激しい腰痛・足の痛みにより歩行困難
- ・体調不良
- ・体力低下（入院・手術・帯状疱疹・下肢筋力の低下・認知症の進行・ADL低下）
- ・死亡（がんによる）
- ・糖尿病の悪化による治療のため、娘さんと同居となり転居
- ・認知症進行の為、娘さんと同居となり転居
- ・独居であり、物忘れ等で、参加日時が認識できないため
- ・あんきなくらぶでの作業が困難

○その他

- ・自分の都合（他の予定で忙しい・農作業忙しい・理由不明・自由にしたい等）
- ・自分には必要ないと感じた
- ・外出したくない、家で過ごしたい

3. 介護認定状況

介護認定者 35人

■介護度について

要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	申請中	計
4	8	9	10	1	0	1	2	35

4. 事業内容

東あんきな	西あんきな	梅花藻くらぶ (南)	ワンコインサロン (苗木)	坂本あんきな	落合あんきな	阿木あんきな
<ul style="list-style-type: none"> ・バイタルチェック ・体重、体脂肪等測定 (月1回) ・手芸、歌、体操、ストレッチ、ヨガ、脳トレ、ゲームなど ・調理 ・外出等 ・水分補給 	<ul style="list-style-type: none"> ・本の読み聞かせ ・おやつ作り ・ドライブ外出 ・レク各種 ・体操 ・料理 ・折り紙 	<ul style="list-style-type: none"> ・うた体操で楽しく身体をほぐす ・トレ、鍋敷き、共同作品として貼り絵 (B紙一枚大) ・打楽(草津節など) ・脳トレ 	<ul style="list-style-type: none"> ・音楽療法 ・おやつ作り ・ドライブ外出 ・レク各種 ・体操 ・料理 ・折り紙 	<ul style="list-style-type: none"> ・リハビリ体操 ・簡単な調理 ・手芸 ・音楽療法 	<ul style="list-style-type: none"> ・健康チェック ・リハビリ体操+足や手指の体操 ・作品づくり(折り紙、貼り絵等) ・脳トレ ・身体を使ったゲーム ・歌 ・音楽療法 ・紙芝居 	<ul style="list-style-type: none"> ・体操(体力測定の結果を基に) ・頭の体操 ・季節の外出行事 ・身体を使ったゲーム ・牛乳パックなどを使った工作 ・絵手紙等の工作 ・お菓子作り ・塗り絵
はなのきくらぶ (坂本)	坂下あんき	ミニデイ(加子母)	お達者くらぶ (付知)	よってこまい会 (福岡)	いきいき教室 (蛭川)	
<ul style="list-style-type: none"> ・バイタルチェック ・一人一人の1週間の様子や近況報告 ・軽い体操 ・脳トレ ・昼食 ・レクリエーション(文化芸能、軽スポーツ等、もの作りを始め、様々な分野を取り入れ楽しい時間を過ごす) 	<ul style="list-style-type: none"> ・お茶の時間 ・手作業(手芸)の時間 ・歌の時間 ・歌 ・体操 ・談話 ・ドライブ 	<ul style="list-style-type: none"> ・講師を依頼して教室(音楽・体操) ・手芸、ゲーム、回想法 ・地域資源の活用(郷土館、図書館、歴史文化財) ・季節ごとにドライブ ・花植え ・子供達との交流会 ・調理 ・遠足(年に一度) 	<ul style="list-style-type: none"> ・健康体操 ・折鶴作り ・ゲーム 	<ul style="list-style-type: none"> ・健康体操 ・レクリエーション ・工作 ・料理 ・外出等 	<ul style="list-style-type: none"> ・健康体操 ・レクリエーション ・音楽療法 ・ドライブ(年2回) ・作品作り(手芸、耕作) ・DSと一緒にクリスマス会 	

平成25年度 地域包括支援センター事業計画

1 包括的支援事業

(1) 総合相談・支援

①地域包括支援センター及び市内13か所の在宅介護支援センターと連携し高齢者や家族からの相談を受け、必要な支援行っていきます。

②在宅介護支援センター相談協力員懇話会
各在宅介護支援センター1回実施 合計13回

(2) 権利擁護事業

認知症高齢者など判断能力の衰えにより、日常生活が困難になってきた場合への支援として成年後見制度等の普及啓発および高齢者虐待の早期発見・早期対応など支援を行う。

① 擁護養護関係

種 別	開催予定回数
高齢者虐待防止講演会（一般）	1
高齢者虐待防止研修会（従事者）	3
高齢者虐待防止関係専門機関介入支援ネットワーク会議	1
高齢者虐待防止保健・医療・福祉サービス介入ネットワーク会議	1
高齢者虐待に対応する措置・緊急入所に必要な居室確保のための調整会議	1
成年後見制度巡回相談の開催	12

②東濃成年後見センターとの連絡会を3ヶ月毎に開催する。

(3) 包括的・継続的マネジメント

高齢者に対し、包括的かつ継続的なサービスが提供されるよう、地域の多様な社会資源を活用したケアマネジメント体制の構築をするため、関係機関との連携体制をつくることや介護支援専門員への支援を行う。

① 会議・研修実施予定

種 別	開催予定回数
ケアマネジャー会議・研修（ケアマネ部会）	12
介護予防関係者会議・研修（保健予防部会）	12
在宅介護支援センター連絡会	12

(4) 介護予防ケアマネジメント

①介護認定にて要支援1・2と判定された方に「予防給付のケアプラン」を作成する、介護予防支援業務を実施します。

②二次予防事業対象把握事業から把握された虚弱高齢者のうち、介護予防事業へ参加される方に「介護予防ケアプラン」を作成します。

2 介護予防事業

(1) 二次予防事業

①二次予防事業対象者把握事業

基本チェックリストを含む生活機能調査を実施し要支援・要介護状態になる可能性の高い高齢者（二次予防事業対象者）を把握し介護予防事業を行う。

②通所型・訪問型介護予防事業

二次予防事業対象者に対して、「運動器の機能向上」「栄養改善」「口腔機能の向上」などの介護予防事業を実施する。

◆通所型介護予防事業・訪問型介護予防事業の内訳

種 別			開催予定回数
通所型	運動機能向上教室	健康貯金教室（中津）	24
		運動機能向上教室 80歳以上（市内）	60
		すいすいすこやか教室（福岡）	※21
		いきいきリハビリ教室（阿木）	12
		筋力アップ教室（坂下）	—
	小計		117
	認知予防	脳いきいき教室	※50
小計		50	
訪問型	口腔機能	健康医療課	20
	栄養改善	在宅栄養士会 LLP	15
	小計		35
合 計			202

※は一次予防事業対象者と同時に実施予定

③生活機能調査二次訪問

ハイリスク者訪問及び運動機能低下者訪問

(2) 一次予防事業（介護予防普及啓発事業）

一次予防事業はすべての高齢者を対象とし、介護予防に関する知識の普及啓発や地域における自主的な介護予防に資する活動の育成・支援のための事業を行う。

◆一次予防事業の内訳

実施機関等		種 別	開催予定回数
地域包括支援センター		健康福祉まつり	1
		脳トレいきいき教室	50
		脳トレいきいき教室 OB 会	随時
		運動機能向上 OB 会	15
小計			66
健康医療課	中津地区	運動機能向上 OB 会等	52
	山口地区	リハビリ教室	32
	坂下地区	リハビリ教室	22
	川上地区	リハビリアクア	45
	加子母地区	いきいき教室・体力づくり教室	39
	付知地区	いきいきひろば・膝教室	179
	福岡地区	水中運動	33
小計			402

実施機関等	種 別	開催予定回数
東在宅介護支援センター	介護予防教室等	27
西在宅介護支援センター	介護予防教室等	5
みなみ在宅介護支援センター	介護予防教室等	36
瀬戸の里在宅介護支援センター	介護予防教室等	11
ひだまり苑在宅介護支援センター	介護予防教室等	25
ゆうらく苑在宅介護支援センター	介護予防教室等	36
シクラメン在宅介護支援センター	介護予防教室等	31
山口在宅介護支援センター	介護予防教室等	36
坂下・川上在宅介護支援センター	介護予防教室等	34
かしも在宅介護支援センター	介護予防教室等	25
付知在宅介護支援センター	介護予防教室等	13
福岡在宅介護支援センター	介護予防教室等	28
ひるかわ在宅介護支援センター	介護予防教室等	32
小計		339
加子母地区（社協加子母支所）	集中型一般介護予防事業 （あんきなくらぶ）	133
付知地区（社協付知支所）		234
福岡地区（社協福岡支所）		132
蛭川地区（社協蛭川支所）		137
東地区（（株）ニチイ学館）		48
南地区（（福）萱垣会）		48
西地区①（（福）五常会）		48
西地区②（（福）五常会）		48
苗木地区①（（福）五常会）		48
苗木地区②（（福）五常会）		48
坂本地区（（株）比良介護施設）		48
落合地区①（（NPO）どれみ宅老所）		48
落合地区②（（NPO）どれみ宅老所）		48
阿木地区（（福）敬愛会）		48
神坂地区（（福）萱垣会）		48
坂下地区（（株）やさか）		48
小計		1,212
五感健康法推進員	出前講座	随時
合 計		2,019

（３）地域介護予防活動支援事業

①研修の開催

介護予防に関するボランティア等の人材育成や地域組織活動の育成・支援を行う事を目的とした講座・研修会を実施します。

種 別	開催予定回数
介護予防サポーター養成講座	5
介護予防サポーターフォローアップ研修	4
介護予防担当者フォローアップ研修	1
介護予防従事者研修会	4
五感健康法推進委員研修会	1
認知症キャラバンメイトフォローアップ研修	1

3 任意事業

(1) 介護相談員派遣事業

市内の介護保険施設等に介護相談員を派遣し、利用者からサービスについての要望や希望、疑問や不安などを聞き取り、施設や行政に伝え、より良い介護サービスが受けられるよう実施する。

介護相談員数	7人
派遣先介護保険サービス提供事業所	46ヶ所
実施予定回数	各事業所2ヶ月毎に訪問

(2) 介護費用等適正化事業

介護サービスが本来の目的に沿って提供されているかなどを、介護認定調査時の情報と介護給付費を分析把握し、介護支援専門員や各サービス提供事業者への情報提供や指導、助言を行い、介護給付費の適正化を図る。

種 別	開催予定回数
介護費用等適正化研修会	2

4 認知症みまもりの「わ」事業

認知症になっても安心して暮らせる地域づくりを目指した取り組み。住民に対して認知症について正しい知識を広め、地域全体で認知症の方やその家族・介護者を支えていける仕組みづくりをすすめる。

(1) 認知症予防の普及啓発

① 認知症について正しく理解してもらう普及啓発の講演会を開催する。

種 別	開催予定回数
各在宅介護支援センター主催認知症講演会	6
認知症講演会（市全域対象）	1

② 認知症サポーター養成講座

認知症の方や家族を支援する認知症サポーターを養成する講座を出前講座で開催。講師となるキャラバン・メイトも養成する。

③ 認知症みまもりガイド

公共施設や市内医療機関、福祉事業所等に配布しています。

(2) 認知症家族への支援

認知症の方を介護している家族が集まり、介護の悩みを共有し交流を図るとともにより良い介護方法を学ぶ機会として、在宅介護支援センターが地域の状況や介護者のニーズに応じて認知症家族の会を開催します。

種 別	開催予定回数
在宅介護支援センター開催の認知症家族の会	25

(3) 認知症みまもりの「わ」ネットワークの構築

地域の関係者が認知症を正しく理解し、支援する事ができるよう、知識の普及啓発や関係者のネットワーク会議を開催します。

種 別	開催予定回数
コーディネーター会議（専門家による会議）	1
地域支援ネットワーク会議(地域ごとの関係者会議)	13

(4) 物忘れ相談の開催

認知症サポート医の協力も得ながら、相談日を月 1 回設定し、広報等で周知し開催します。

(5) 地域ささえ合いマップ作りの実施

平成 22 年度から認知症の方を地域で支えるしくみ作りとして、地域の方と「地域ささえ合いマップ」作りを行っており、平成 25 年度も下記の内容で実施します。

種 別	開催予定回数
地域ささえ合いマップ作り（新規）	2 地区
実施済地区フォローアップ研修	5 地区
地域での取り組みについての意見交換会	1

Memo

A series of horizontal dotted lines for writing.

平成25年度 介護予防支援業務の委託先について

◆介護予防支援業務委託先事業所一覧

母体法人名		事業所名		母体住所	代表者名	締結開始
1	社会福祉法人 敬愛会	1	居宅介護支援事業所 シクラメン	中津川市 阿木 2811 番地 1	安藤隆示	平成18年 4月～
2	社会福祉法人 中津川市 社会福祉協議会	2	中津川 北居宅介護支援事業所	中津川市 かやの木町2番5号	樋田邦彦	平成18年 4月～
		3	福岡 居宅介護支援事業所			
		4	ひるかわ 居宅介護支援事業所			
		5	坂下 居宅介護支援事業所			
		6	中津川市社会福祉協議会 指定居宅介護支援事業所			
3	社会福祉法人 椿苑	7	居宅介護支援事業所 椿苑	中津川市 山口 2155 番地の 4	楯 政彰	平成18年 4月～
4	社会福祉法人 五常会	8	ニッ森 居宅介護支援センター	中津川市 福岡 1693 番地 601	新谷義克	平成18年 4月～
5	株式会社 比良介護施設	9	介護支援センター ら・じょわ	名古屋市 西区比良4丁目4番地	川野真嗣	平成21年 4月～
6	有限会社 アームズ	10	居宅介護支援事業所 ほっと	中津川市 蛭川 5735 番地 227	野村真一	平成21年 4月～
7	社会福祉法人 恵北福社会	11	居宅介護支援事業所 恵翔苑	中津川市 付知町 4575 番地 1	原 正和	平成23年 6月～
8	合同会社かがやき	12	介護支援事業所 ケアプラン東野	恵那市 東野 1100 番地 2	西尾由香	平成24年 9月～
9	社会福祉法人 春生会	13	あさひが丘介護センター	愛知県春日井市 神屋町 1310 番地	若月剛一	平成24年 11月～

要介護認定の傾向について

■要介護（要支援）認定者数の推移

区分	要支援 1	要支援 2	計	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	計	合計	認定率
H20.3	190	554	744	491	708	549	533	550	2,831	3,575	15.7%
H21.3	196	576	772	511	746	526	502	530	2,815	3,587	15.5%
H22.3	239	482	721	577	731	567	496	514	2,885	3,606	15.9%
H23.3	281	422	715	675	754	524	526	549	3,106	3,731	16.5%
H24.3	327	417	744	730	717	545	487	568	3,047	3,791	16.7%

※第1号被保険者(65歳以上)認定者数

■新規認定申請者の原因疾患（上位10）

①筋骨格系疾患	30.1%	⑥骨折	15.2%
②脳血管疾患	23.4%	⑦がん	12.7%
③高血圧	21.3%	⑧糖尿病疾患	11.0%
④認知症	21.0%	⑨精神疾患	6.5%
⑤心疾患	15.3%	⑩呼吸器疾患	4.9%

■新規認定者の年齢構成

・65～74歳	16.6%
・75歳以上	83.4%

■独居・高齢者世帯の増加

区分	H22	H23	H24
独居	3,223	3,362	3,473
高齢世帯	3,232	3,258	3,304

■見守りが必要な認知症者の推移

区分	H20	H21	H22	H23	H24
対象者数	1,122	1,143	1,158	1,244	1,291

○認定調査の情報で、認知症高齢者の日常生活自立度がⅡa以上、かつ、寝たきり度がランクJ又はAの方を対象者として抽出した。
○特別養護老人ホーム入所中の方は対象としていない。

■H24 見守りが必要な認知症者の認定状況

区分	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5
対象者数	17	36	420	450	244	91	33
割合	1.3%	2.8%	32.5%	34.9%	18.9%	7.0%	2.6%